

2023年3月期 決算説明会

ウシオ電機株式会社

2023年5月11日

<免責事項>本資料で記述されている将来の当社業績に関する見通しは、現時点で入手可能な情報を基に当社が判断した予想です。従いまして、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

*本資料の記載は、切捨てによる億円単位で表記しております。

Copyright © 2023 Ushio Inc., All Rights Reserved

未来は光でおもしろくなる

USHIO



1. 2022年度 通期業績（実績）は **増収増益**
2. 次期（2023年度） 通期業績予想は **増収減益**
3. 次期（2023年度） セグメント区分を変更

I. 2022年度 業績概要

II. 2023年度 通期業績予想

III. 参考資料

売上高

通期実績
1,750億円

前年同期比 : 262億円増 (+17.6%)

円安による増収効果
需要増による増収 (光学装置_UV装置)
新型コロナ影響からの回復 (映像装置_一般映像)

営業利益

通期実績
158億円

前年同期比 : 27億円増 (+21.4%)

増収による増益 (為替影響含む)
構造改革等による固定費抑制効果

親会社株主に帰属する
当期純利益

通期実績
136億円

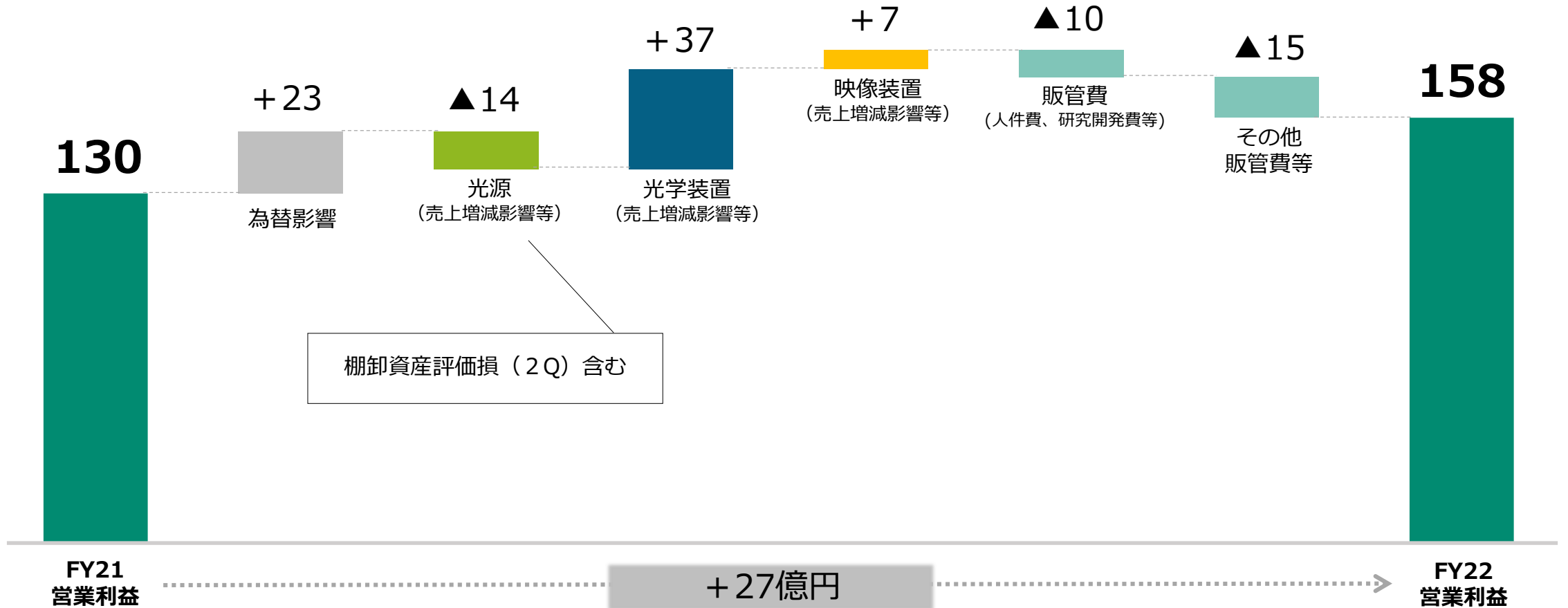
前年同期比 : 10億円増 (+8.7%)

【営業外収支】 為替差損益 19億円 (2021年度 : 3億円)
【特別利益】 固定資産売却益 2億円 (2021年度 : 11億円)

	(億円)	2021年度 実績	2022年度 実績	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		1,488	1,750	+262	+17.6%
営業利益		130	158	+27	+21.4%
営業利益率		8.8%	9.1%	+0.3P	-
経常利益		151	201	+49	+32.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益		126	136	+10	+8.7%
EPS (円)		104.54	115.69	+11.15	+10.7%
為替レート (円)	USD	112	135	+23	-
	EUR	131	141	+10	-

前年同期比 営業利益増減分析

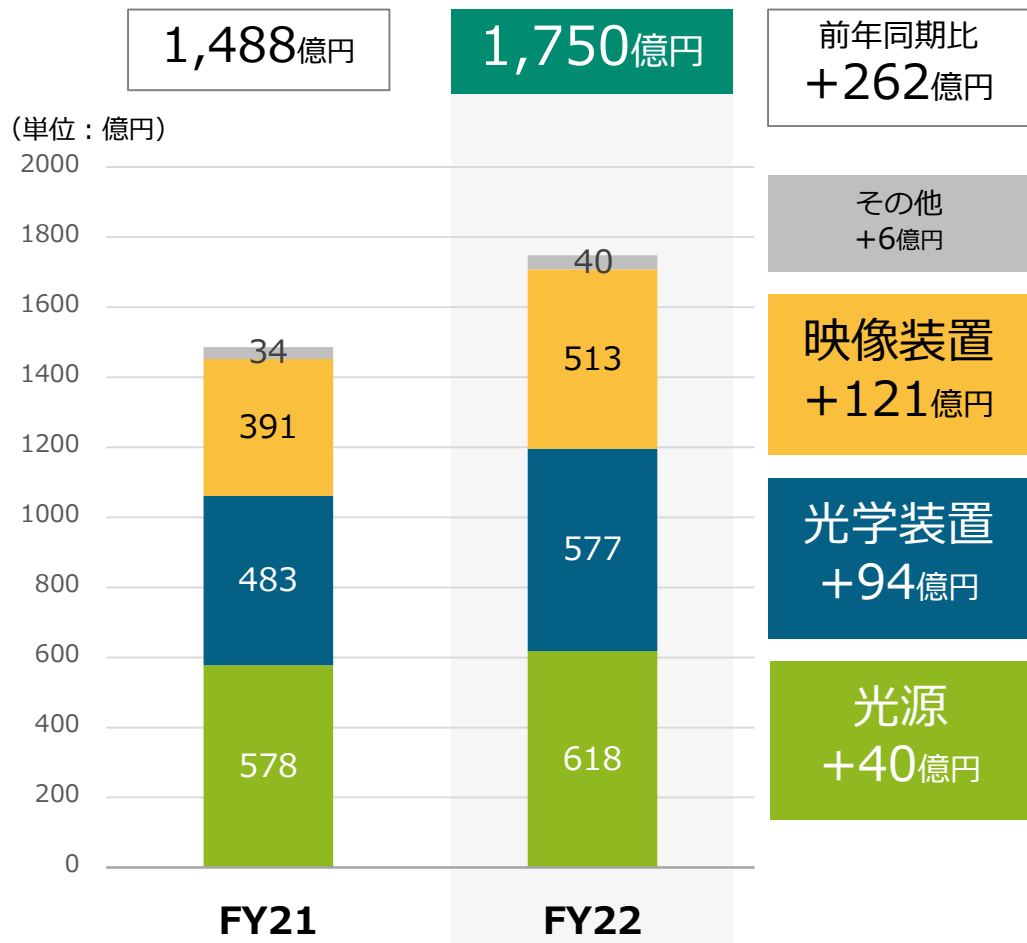
単位：億円



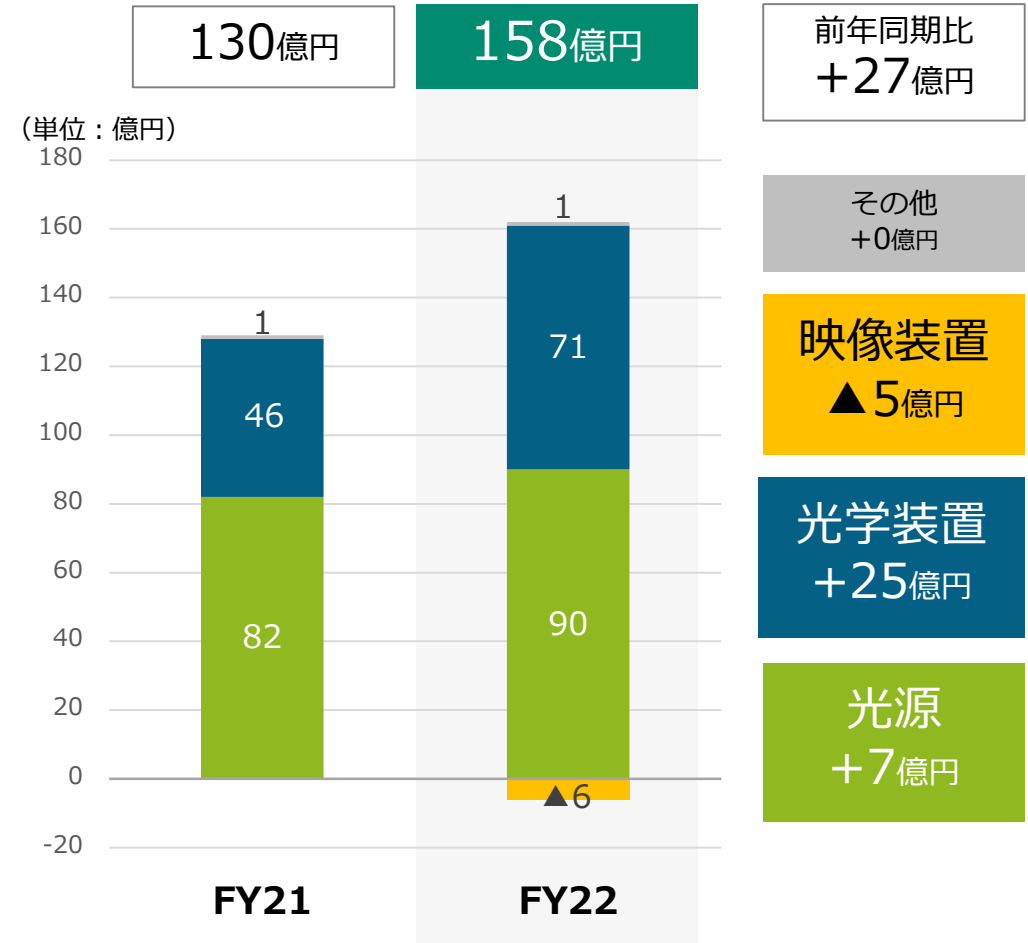
注：「光源（売上増減影響等）」～「その他販管費等」は、「為替影響」を除いた金額

セグメント別 売上高、営業利益

売上高



営業利益



共通

半導体等の部材不足による影響は、一部事業で継続も緩和傾向
部材コスト上昇、エネルギー価格及び物流費高騰の影響は、一部事業で継続

エレクトロニクス
分野

半導体は中長期では成長も足元は稼働調整継続 液晶は需要一巡後は横ばいで推移

- FPD市場は、液晶の巣ごもり需要一巡及び在庫調整により稼働低下後、横ばいで推移
- 半導体市場は、IoTや5G等の進展で中長期の成長を見込むも、足元は最終需要減速により稼働調整が継続
- 最先端ICパッケージ市場は、IoT等の進展でデータセンター需要増の傾向継続も、足元は投資先延ばしの傾向
高速化・低消費電力化等のニーズに対し技術革新の必要性もあり需要は堅調

ビジュアル
イメージング
分野

各国の経済活動再開により市場は概ね回復 部材不足影響とコスト上昇は緩和傾向

- シネマ市場は、映画館の稼働が回復 ただし設備投資の本回復は2023年度以降を見込む
中国市場はゼロコロナからウィズコロナへの政策転換により回復へ
- 一般映像市場は、イベント等の規制解除や再開により投資が回復
- OA機器市場は、セットメーカーでの部材不足による影響緩和も、景気減速により在庫調整

(億円)	2021年度 実績	2022年度 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	578	618	+40	+6.9%
放電ランプ	383	387	+4	+1.1%
ハロゲンランプ	104	129	+24	+23.8%
固体光源	90	100	+10	+11.9%
営業利益	82	90	+7	+8.8%
営業利益率	14.3%	14.6%	+0.3P	-

放電ランプ 売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- ・ **UVランプ（▲7億円、▲6%）**
液晶パネル向けで販売が減少
- ・ **シネマ用ランプ（+17億円、+24%）**
新型コロナ影響から映画館の稼働が回復し販売が増加 及び 為替により増収
- ・ **データプロジェクター用ランプ（+6億円、+17%）**
イベント回復によるハイエンド向け販売が増加 及び 為替により増収
- ・ **光学機器用ランプ（+2億円、+3%）**
液晶パネル向けで販売が減少も 為替により増収
- ・ **その他（▲14億円、▲35%）**
固体光源化の影響によりナトリウムランプの販売が減少

ハロゲンランプ 売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- ・ **OA用ランプ（+14億円、+33%）**
セットメーカーの部材不足影響が緩和し、販売が増加
- ・ **その他（+6億円、+15%）**
半導体需要増に伴い、主に半導体向け熱処理用ランプの販売が増加

固体光源 売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- ・ **固体光源（+10億円、+12%）**
エンタメ、センシング関連需要が回復し販売が増加 及び 為替により増収

光学装置

(億円)	2021年度 実績	2022年度 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	483	577	+94	+19.4%
営業利益	46	71	+25	+55.0%
営業利益率	9.5%	12.4%	+2.8P	-

映像装置

(億円)	2021年度 実績	2022年度 実績	前年同期比	
			増減額	増減率
売上高	391	513	+121	+31.0%
営業利益	▲0	▲6	▲5	-
営業利益率	▲0.1%	▲1.3%	▲1.1P	-

売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- UV装置（+96億円、+33%）**
 最先端ICパッケージ基板向け投影露光装置 及び ダイレクトイメージング露光装置の販売が増加
- キュア装置（▲11億円、▲22%）**
 液晶パネル需要一巡で設備投資が縮小し、関連装置の販売が減少
- その他（+8億円、+6%）**
 EUVは光源本体の販売が減少も、メンテナンスは増加

売上高増減の主な内訳（前年同期比）

- シネマ（+37億円、+22%）**
 部材不足でDCPの販売は減少も、為替により増収
- 一般映像（+77億円、+39%）**
 北米市場を中心にイベント等の回復により関連装置の販売が増加

項目	最新の状況	売上高推移																								
最先端IC パッケージ基板向け 投影露光装置	<ul style="list-style-type: none"> 最先端ICパッケージ基板市場の成長継続により受注・引き合いは堅調も、足元は投資先延ばしの傾向あり 生産能力を段階的に増強 2022年度下期:1.3倍以上 → 2023年度以降:更に2倍以上へ 次世代露光機へ開発投資継続（高生産性×微細化） 	<table border="1"> <caption>売上高推移 (FY18 - FY22)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY18</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY19</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY20</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY21</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY22</td> <td>実績</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	FY18	実績	FY19	実績	FY20	実績	FY21	実績	FY22	実績												
年度	実績																									
FY18	実績																									
FY19	実績																									
FY20	実績																									
FY21	実績																									
FY22	実績																									
ダイレクト イメージング 露光装置	<ul style="list-style-type: none"> IoT、5G等の進展に伴いパッケージ・プリント基板市場成長継続 高解像力モデル(2 μmL/S)販売開始、2023年度以降、業績貢献 ターゲット：最先端ICパッケージ（Fan-out）、有機パッケージ基板市場等 	<table border="1"> <caption>売上高推移 (FY18 - FY22)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY18</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY19</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY20</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY21</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY22</td> <td>実績</td> </tr> </tbody> </table>	年度	実績	FY18	実績	FY19	実績	FY20	実績	FY21	実績	FY22	実績												
年度	実績																									
FY18	実績																									
FY19	実績																									
FY20	実績																									
FY21	実績																									
FY22	実績																									
EUVリソグラフィ マスク検査用 EUV光源	<ul style="list-style-type: none"> EUVマスク検査市場は着実に成長も、2023年度も調整局面が継続 高輝度APMI*の本格採用は2025年度以降 保守メンテナンスは高稼働で推移 	<table border="1"> <caption>売上高推移 (FY18 - FY22)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>メンテナンス</th> <th>本体</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>FY18</td> <td>実績</td> <td></td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY19</td> <td>実績</td> <td></td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY20</td> <td>実績</td> <td></td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY21</td> <td>実績</td> <td>実績</td> <td>実績</td> </tr> <tr> <td>FY22</td> <td>実績</td> <td>実績</td> <td>実績</td> </tr> </tbody> </table>	年度	メンテナンス	本体	実績	FY18	実績		実績	FY19	実績		実績	FY20	実績		実績	FY21	実績	実績	実績	FY22	実績	実績	実績
年度	メンテナンス	本体	実績																							
FY18	実績		実績																							
FY19	実績		実績																							
FY20	実績		実績																							
FY21	実績	実績	実績																							
FY22	実績	実績	実績																							

*APMI : Actinic Patterned Mask Defect Inspection（EUV光を使ったマスク欠陥検査装置）

2022年度 通期公表値差異

半導体市況の悪化や部材不足により期初計画は未達も、前回修正公表値に対して、第4四半期の光源の生産調整影響が軽微であったことにより想定を上回り着地

(億円)	2022年度 実績	前回 2023.2.3			期初計画 2022.5.11			
		修正公表値	差異	達成率	公表値	差異	達成率	
売上高	1,750	1,700	+50	103.0%	1,700	+50	103.0%	
営業利益	158	150	+8	105.7%	170	▲11	93.3%	
営業利益率	9.1%	8.8%	+0.2P	-	10.0%	▲0.9P	-	
経常利益	201	195	+6	103.3%	185	+16	108.9%	
親会社株主に帰属する 当期純利益	136	130	+6	105.4%	140	▲3	97.9%	
EPS (円)	115.69	109.78	+5.91	105.4%	117.79	▲2.10	98.2%	
ROE	5.7%	5.5%	+0.2P	-	5.9%	▲0.2P	-	
年間配当 (円)	50	50	-	-	50	-	-	
為替レート (円)	USD	135	133	+2	-	120	+15	-
	EUR	141	139	+2	-	130	+11	-

2022年度 通期公表値差異 セグメント別

	(億円)	2022年度 実績	前回 2023.2.3			期初計画 2022.5.11		
			修正公表値	差異	達成率	公表値	差異	達成率
光源	売上高	618	590	+28	104.8%	630	▲11	98.1%
	営業利益	90	77	+13	117.2%	98	▲7	92.1%
	営業利益率	14.6%	13.1%	+1.5P	-	15.6%	▲1.0P	-
光学装置	売上高	577	560	+17	103.2%	510	+67	113.3%
	営業利益	71	80	▲8	89.5%	57	+14	125.6%
	営業利益率	12.4%	14.3%	▲1.9P	-	11.2%	+1.2P	-
映像装置	売上高	513	510	+3	100.6%	520	▲6	98.7%
	営業利益	▲6	▲9	+2	-	13	▲19	-
	営業利益率	▲1.3%	▲1.8%	+0.5P	-	2.5%	▲3.8P	-
その他	売上高	40	40	+0	102.2%	40	+0	102.2%
	営業利益	1	2	▲0	95.9%	2	▲0	95.9%
	営業利益率	4.7%	5.0%	▲0.3P	-	5.0%	▲0.3P	-
連結合計	売上高	1,750	1,700	+50	103.0%	1,700	+50	103.0%
	営業利益	158	150	+8	105.7%	170	▲11	93.3%
	営業利益率	9.1%	8.8%	+0.2P	-	10.0%	▲0.9P	-

I. 2022年度 業績概要

II. 2023年度 通期業績予想

III. 参考資料

2023年度 通期業績予想

映像機器関連の部材問題が緩和傾向により販売が増加し増収も、半導体市場を中心に不透明な景況感が継続中計の達成及び将来の事業拡大に向けた戦略投資を拡大 配当は1株あたり50円/年を維持

	(億円)	2022年度 実績	2023年度 予想	前年同期差異	
				増減	(%)
売上高		1,750	1,880	+129	+7.4%
営業利益*1		158	125	▲33	▲21.2%
営業利益率*1		9.1%	6.6%	▲2.4P	-
EBITDA*2		236	210	▲26	▲11.2%
EBITDAマージン		13.5%	11.2%	▲2.3P	-
経常利益		201	140	▲61	▲30.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益		136	100	▲36	▲27.0%
EPS (円)		115.69	90.58	▲25.11	▲21.7%
ROE*1		5.7%	4.3%	▲1.4P	-
年間配当 (円)		50	50	-	-
為替レート (円)	USD	135	135	▲0	-
	EUR	141	145	+4	-

為替感応度：1円変動による影響額（通期）

	売上高	営業利益
対USD	約12.0億円	約1.3億円

*1 2023年度の営業利益、営業利益率及びROEの目標値は、新規ののれん償却を除いて算出

*2 EBITDA=営業利益+減価償却費及びのれん償却費

セグメント区分変更

第2次中期経営計画（FY2023～2025）より「市場軸」に基づく事業運営へと移行

旧事業セグメント			
報告セグメント	サブセグメント		
光源事業	ハロゲンランプ	●OA	
		●照明	
		●その他	
	放電ランプ	●UVランプ	
		●映画館	
		●データプロジェクター	
		●光学機器	
		●その他	
		●固体光源	
	光学装置事業	●UV装置	
●キュア装置			
●その他			
映像装置事業	●シネマ		
	●一般映像		
	●照明装置他		
その他	●産業機械その他		



新事業セグメント	参考：旧事業セグメントとの関連性	
報告セグメント	サブセグメント	報告セグメント
Industrial Process	●ハロゲンランプ：OA、その他 ●放電ランプ：UVランプ、光学機器	光源事業
	●UV装置 ●キュア装置 ●その他（EUV他）	光学装置
	●産業機械その他	その他
Visual Imaging	●ハロゲンランプ：照明 ●放電ランプ ：映画館、データプロジェクター	光源事業
	●シネマ ●一般映像 ●照明装置他	映像装置
Life Science	●放電ランプ：光学機器	光源事業
	●その他（メディカル他）	光学装置
Photonics Solution	●固体光源	光源事業
その他	●その他	光学装置

セグメント別 通期業績予想

IP：半導体市場の不透明感が継続及び開発投資拡大で減収減益

VI：部材問題が緩和傾向で増収増益

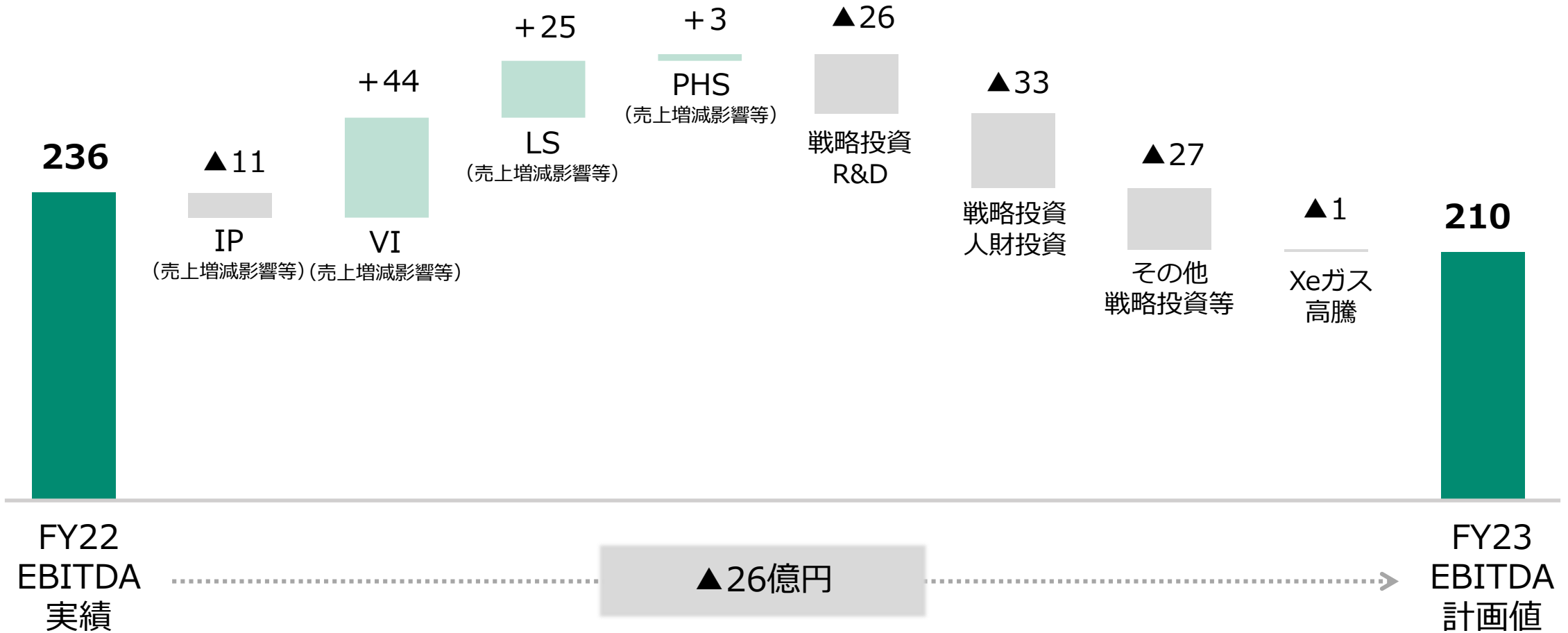
	売上高				営業利益			
	(億円)	2022年度 実績 (参考値*1)	2023年度 予想*2	前年同期比 増減 (%)	2022年度 実績 (参考値*1)	2023年度 予想*2	前年同期比 増減 (%)	
Industrial Process		881	860	▲21 ▲2.4%	172 (19.6%)	110 (12.8%)	▲62 (▲6.8P)	▲36.4%
Visual Imaging		677	835	+157 +23.2%	30 (4.5%)	40 (4.8%)	+9 (+0.3P)	+32.2%
Life Science		46	45	▲1 ▲3.3%	▲49 (▲106.0%)	▲20 (▲44.4%)	+29 (+61.6P)	-
Photonics Solution		101	105	+3 +3.7%	▲2 (▲2.9%)	▲10 (▲9.5%)	▲7 (▲6.6P)	-
その他		43	35	▲8 ▲19.4%	7 (17.7%)	5 (14.3%)	▲2 (▲3.4P)	▲34.8%
連結合計		1,750	1,880	+129 +7.4%	158 (9.1%)	125 (6.6%)	▲33 (▲2.4P)	▲21.2%

*1 各セグメントの2022年度の値は比較を目的に当社が作成した参考値

*2 2023年度の営業利益は、新規ののれん償却を除いて算出

	事業環境前提	事業の見通し
Industrial Process	<p>全般的に不透明な景況感継続、半導体市場は下期以降の緩やかな回復を見込む</p> <ul style="list-style-type: none"> 半導体市場は最終需要減速で稼働調整が継続 回復は下期以降 最先端ICパッケージ基板市場は、中長期トレンド変わらず需要旺盛も、足元は投資計画後ろ倒しの傾向あり FPD市場は、巣ごもり需要一巡後に稼働低下し、横ばいで推移 	<ul style="list-style-type: none"> 投影及びDI露光装置は一部投資計画後ろ倒しで販売は微増 EUVは、TCO課題継続で、メンテナンスのみ販売を見込む UVランプは、稼働調整継続により前期比で販売が減少 露光装置及びEUVで将来を見据えた開発及びサポート体制強化に対する投資拡大
Visual Imaging	<p>シネマ市場は回復し、置き換え需要が本格化 一般映像市場は堅調</p> <ul style="list-style-type: none"> シネマ市場は、中国市場が稼働回復 DCPの置き換え需要が本格化 一般映像市場は、イベントやテーマパークなどの設備投資が堅調 ハイエンドプロジェクターの部材不足は緩和傾向 	<ul style="list-style-type: none"> DCPは部材不足緩和と置き換え需要本格化で販売が増加 一般映像関連機器は、ハイエンド需要が堅調で販売が増加 シネマ用ランプは、中国市場回復も固体光源化などの影響で販売は微増 データプロジェクター用ランプは、需要減と固体光源化で販売が減少
Life Science	<ul style="list-style-type: none"> 医療業界で光を使った機器需要が緩やかに伸長 	<ul style="list-style-type: none"> 紫外線治療機器は新製品投入でシェアUPにより販売が増加 医療業界向け光源は需要増加により販売が増加 固体光源化の影響でナトリウムランプの販売が減少
Photonics Solution	<ul style="list-style-type: none"> 光応用の拡大、エネルギー効率向上等により堅調に推移 	<ul style="list-style-type: none"> メディカルヘルスケアや産業用センサー市場向けのデバイス及びモジュールの販売が増加 OA印刷及びキュア用途のモジュール販売が増加

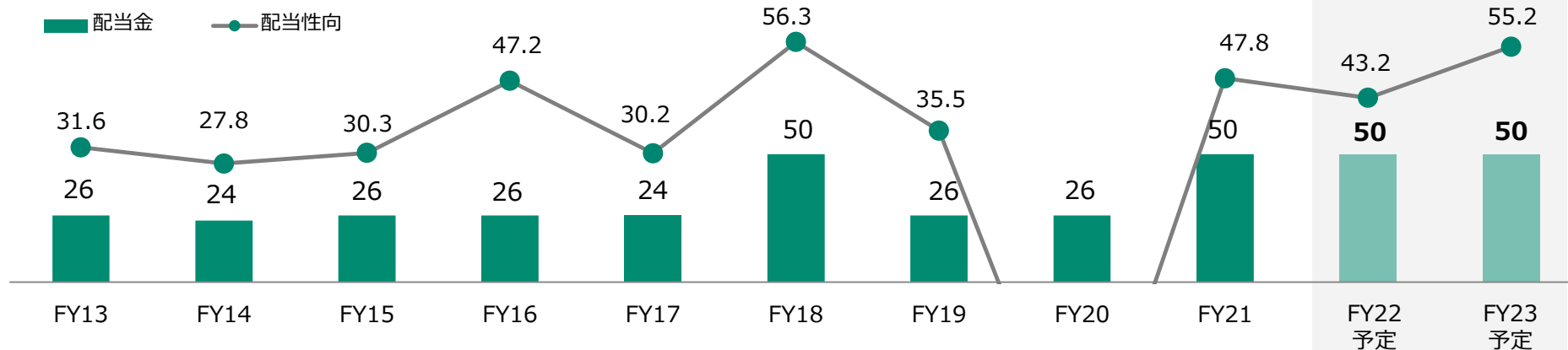
EBITDA増減分析（前年度比）



1株当たり
期末配当額

【配当方針】 安定的な利益還元

2022年度は 50円/年 を予定
2023年度は 50円/年 を継続



【自己株式取得の方針】

機動的に実施

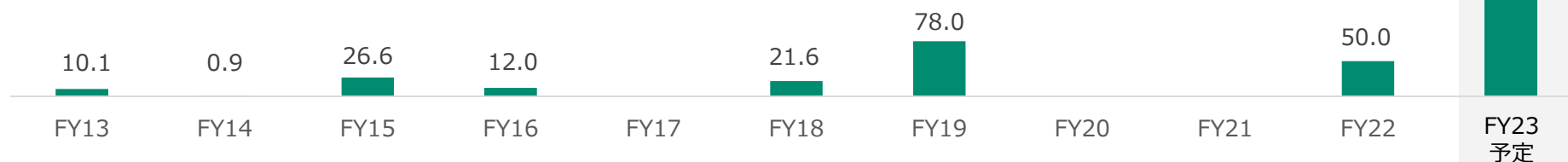
なお、保有する自己株式は、発行済株式総数の5%を上限とし、発行済株式総数の5%を上回る部分については毎年消却を実施

単位：億円

取得期間：2023年5月29日～2024年5月10日

買付予定金額：300億円（上限）

買付予定株数：2,000万株（上限）



自社株買い

I. 2022年度 業績概要

II. 2023年度 通期業績予想

III. 参考資料

USHIO

次世代半導体量産用EUV光源

開発/生産/販売



(提供：TNO)



光源販売
メンテナンス

マスク検査装置メーカー
研究開発機関

半導体デバイスメーカー等

EUVリソグラフィの技術開発進展による次世代半導体の量産化ニーズ

検査、開発用光源のニーズ増大
ウシオのEUV光源が貢献

マスク検査用EUV光源需要増加
メンテナンス機会の増加

ウシオのEUV光源開発の歴史

- 2000年 EUV光源開発開始
- 2001年 EUVA*設立、参画
- 2013年 リソグラフィ用途から撤退
- 2016年 オランダ研究機関TNOへ EUV光源納入
- 2018年 検査用（評価用）初号機納入
- 2019年 量産ライン用初号機納入、検収

■ウシオの強み

半導体業界での長いビジネス経験

+

長年積み重ねたEUV技術
(コンパクト/高輝度/高出力)

*極端紫外線露光システム開発機構

USHIO

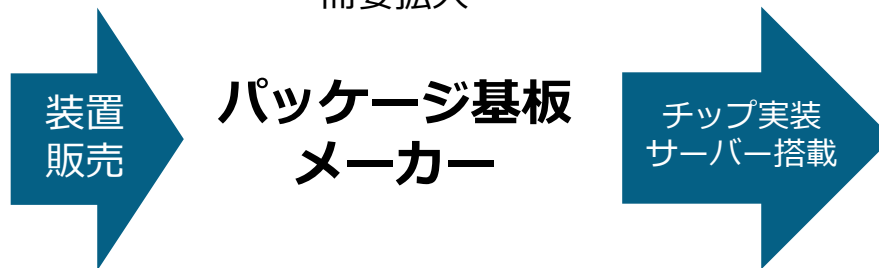
最先端ICパッケージ基板向け
分割投影露光装置 (UX-5)
製造、販売

■ 世界シェア : 90%*

* 最先端ICパッケージ基板市場
(ステッパ露光機市場)



最先端・次世代パッケージ
需要拡大

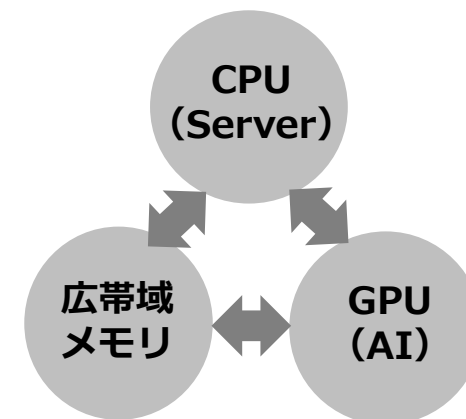


IoT進展に伴う大容量かつ高速データ処理用
データセンター向けサーバーの需要増加

データセンター市場 : 年率20%以上成長 (自社調べ)
⇒ 次世代パッケージ基板の採用拡大

■ ウシオの強み

1. 大面積一括投影露光
→ 高生産性、低CoO
2. マスクワーク非接触
→ 歩留まり向上
3. 広い焦点深度
→ プロセスマージン・基板反り対応
4. 高い解像力・重ね合わせ精度
→ 配線ピッチ微細化、プロセスマージン





ダイレクトイメージング露光装置

開発・製造・販売

微細化対応

高生産性



装置販売

アプリケーションの革新に対応した
プリント配線板需要の増加

プリント配線板 パッケージ基板 メーカー

高密度化

多層化

基板搭載

消費電力対応
小型化対応

■ウシオの強み

高解像力(ハイエンド)
世界最速の高生産性(ミドルエンド)
+
顧客本位の保守サポート能力

5G導入による
各種アプリケーションの革新と需要の増加

データセンター
基地局
需要増

スマートフォン
通信機器
需要増

車載
需要増

5Gサービス
世界各国で
開始・拡大

■ 最先端半導体のFOパッケージ、有機パッケージ基板（先端BGA）などに向けた直描式露光装置を開発

リリース全文（2021年7月12日発表）：

<https://www.ushio.co.jp/jp/news/1002/2021-2021/500818.html>



抗ウイルス・除菌用紫外線技術「Care222[®]」

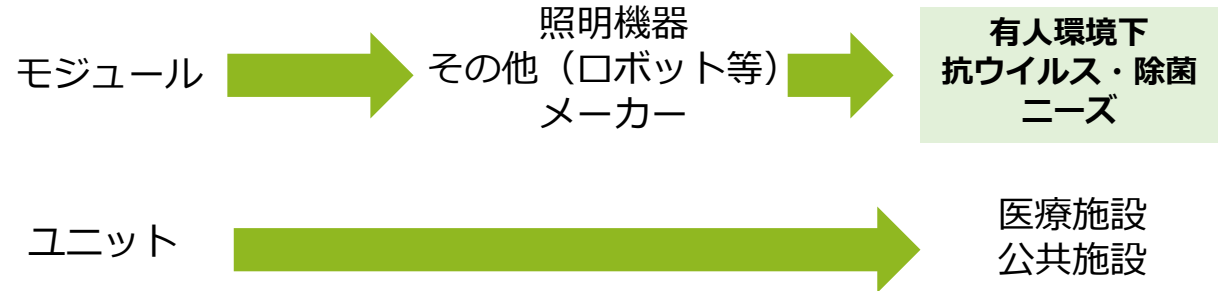


目指す姿：感染症の無い世界

有人環境下での抗ウイルス・除菌を行いたいというニーズ
(安全・安心の提供)

■ ウシオの強み

- ・ 紫外線除菌における独占ライセンス保有 (コロンビア大学)
- ・ 空間形態に合わせた最適な照射プロセスの蓄積
- ・ 液晶・半導体業界で培った高品質のエキシマランプ・モジュール製造技術



取り組み	
STEP0	<ul style="list-style-type: none">・ 生産体制確立・製品展開 協業開発、ニーズに合わせたラインナップ拡充・ 認知度・ブランド価値向上 展示会・広告出稿、ブランドサイト、販売パートナーとの協業・ 効果のエビデンス拡充・紫外線に対する理解浸透 学会発表・臨床研究の推進継続 ACGIH*改訂を機に、IEC規格*の改訂及び各国の規格緩和の促進
STEP1	<ul style="list-style-type: none">・ 親和性の高い空間インフラ ⇒ MaaS市場/医療現場へ

*ACGIH：労働者の作業環境基準として薬品等の許容濃度（TLV）等のガイドラインを示す、アメリカ合衆国産業衛生専門家会議

*IEC規格：国際電気標準会議（International Electrotechnical Commission：IEC）

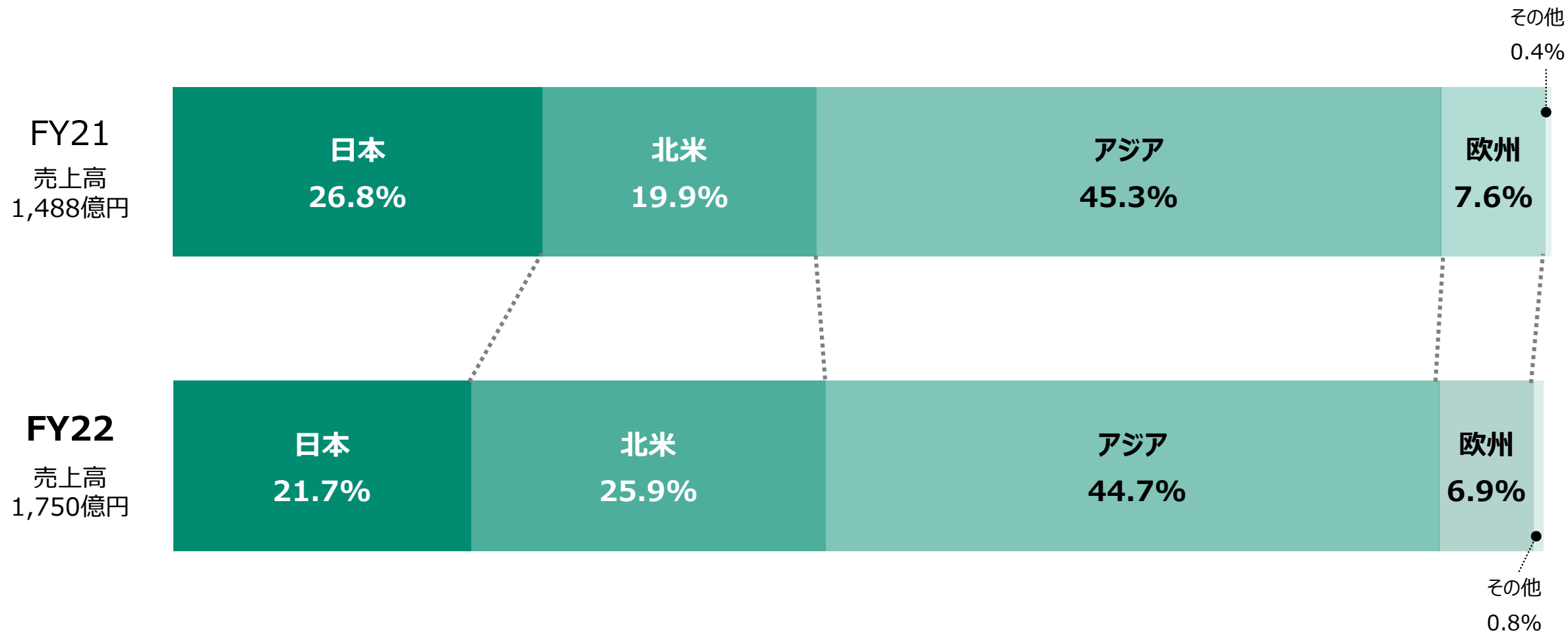
四半期推移《損益》

		2021年度				2022年度				前年同期比	
		1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	増減額	増減率
(億円)											
売上高		349	366	381	391	397	482	404	466	+75	+19.3%
営業利益		25	39	42	22	44	56	34	23	+0	+3.2%
営業利益率		7.4%	10.9%	11.1%	5.8%	11.3%	11.7%	8.5%	5.0%	▲0.8P	-
経常利益		33	43	48	26	62	73	43	21	▲5	▲20.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益		33	31	36	24	38	56	25	16	▲7	▲33.0%
EPS (円)		28.02	25.94	30.52	20.06	32.18	47.87	21.80	13.78	▲6.28	▲31.3%
為替レート (円)	USD	110	110	113	115	126	137	144	133	+18	-
	EUR	132	130	130	129	137	140	144	143	+13	-

四半期推移《セグメント別損益》

		2021年度				2022年度				前年同期比	
		1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	1 Q	2 Q	3 Q	4 Q	増減額	増減率
光源	売上高	136	143	152	145	160	164	150	142	▲3	▲2.3%
	営業利益	19	25	24	12	31	20	21	17	+4	+37.5%
	営業利益率	14.3%	17.8%	16.3%	8.8%	19.4%	12.2%	14.1%	12.4%	+3.6P	-
光学装置	売上高	124	120	108	130	115	186	113	161	+30	+23.6%
	営業利益	10	13	10	10	10	34	17	8	▲2	▲20.2%
	営業利益率	8.7%	11.3%	10.1%	8.4%	9.4%	18.7%	15.1%	5.4%	▲3.0P	-
映像装置	売上高	82	94	111	104	113	119	129	150	+46	+44.2%
	営業利益	▲4	0	5	▲1	2	0	▲5	▲4	▲2	▲169.2%
	営業利益率	▲5.8%	0.3%	4.9%	▲1.4%	2.2%	0.2%	▲3.9%	▲2.7%	▲1.2P	-
その他	売上高	6	8	9	10	7	11	10	11	+1	+19.0%
	営業利益	▲0	0	0	0	0	0	0	0	+0	+170.4%
	営業利益率	▲0.2%	2.2%	7.8%	2.0%	1.5%	6.2%	5.6%	4.5%	+2.5P	-
連結合計	売上高	349	366	381	391	397	482	404	466	+75	+19.3%
	営業利益	25	39	42	22	44	56	34	23	+0	+3.2%
	営業利益率	7.4%	10.9%	11.1%	5.8%	11.3%	11.7%	8.5%	5.0%	▲0.8P	-

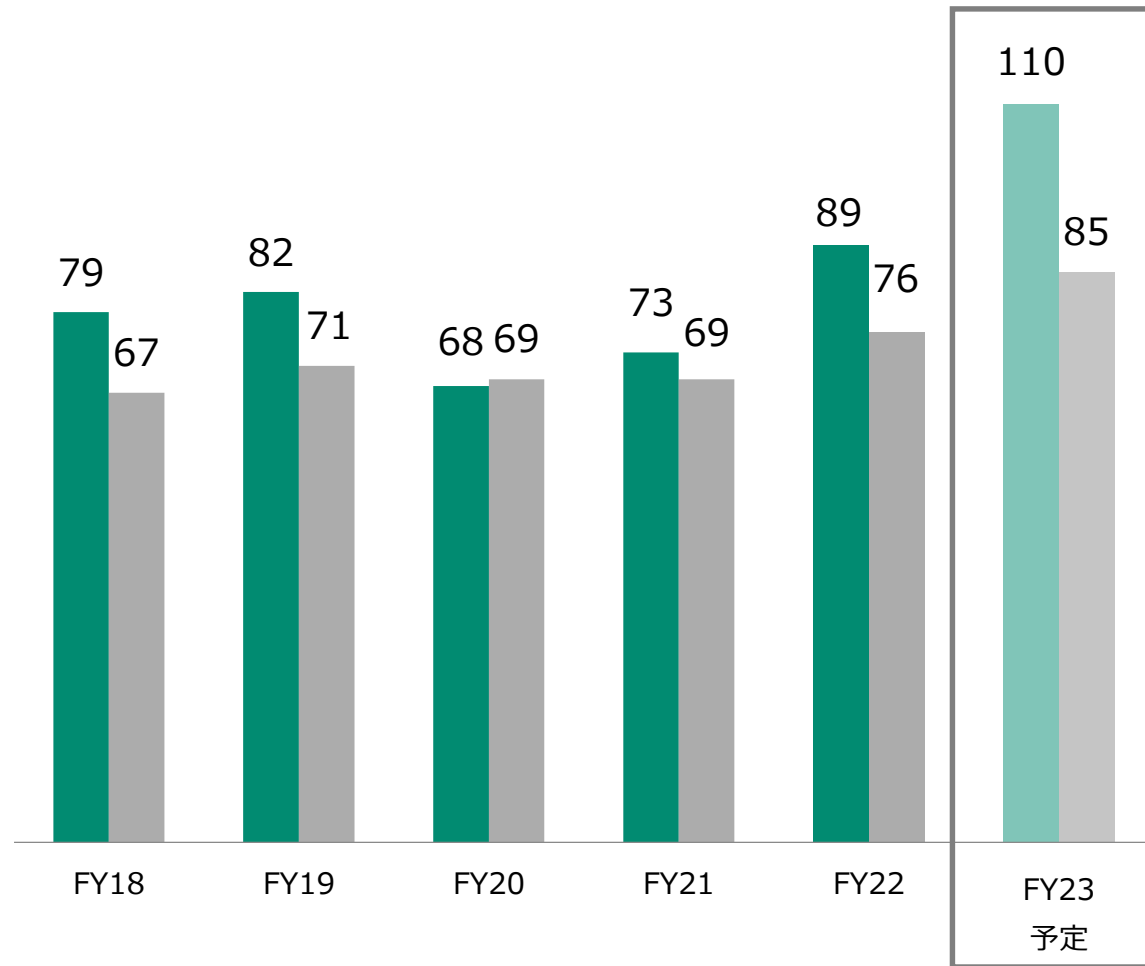
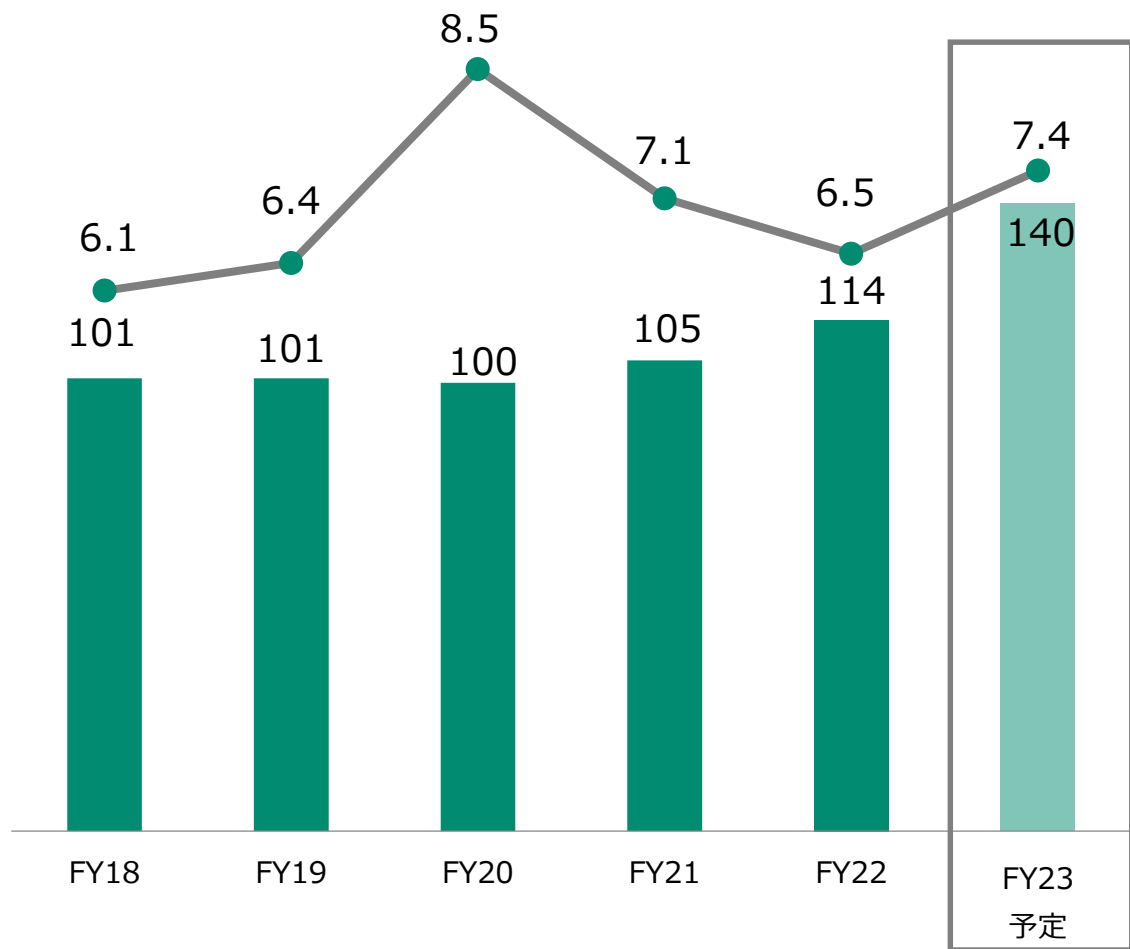
地域別売上高比率



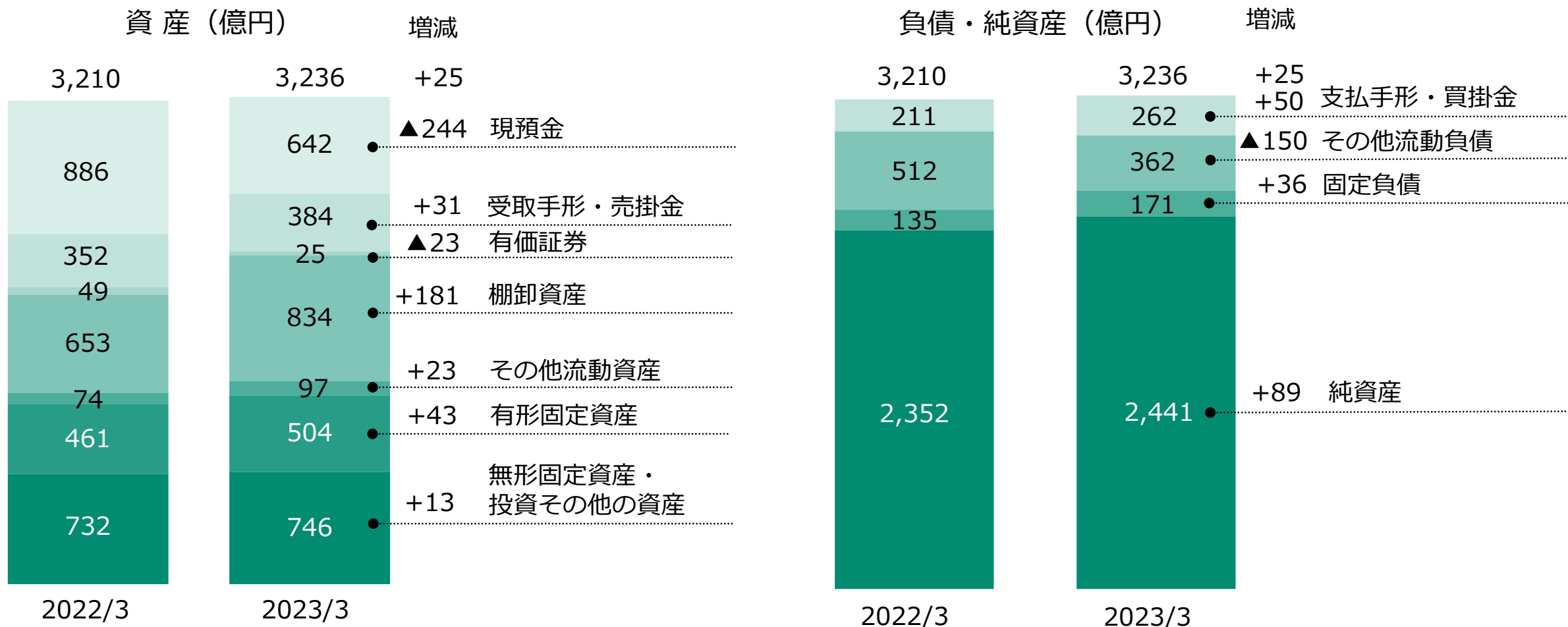
研究開発費／設備投資額・減価償却費

■ 研究開発費 (億円)
 — 売上高研究開発費率(%)

■ 設備投資額 (億円)
 ■ 減価償却費 (億円)



貸借対照表

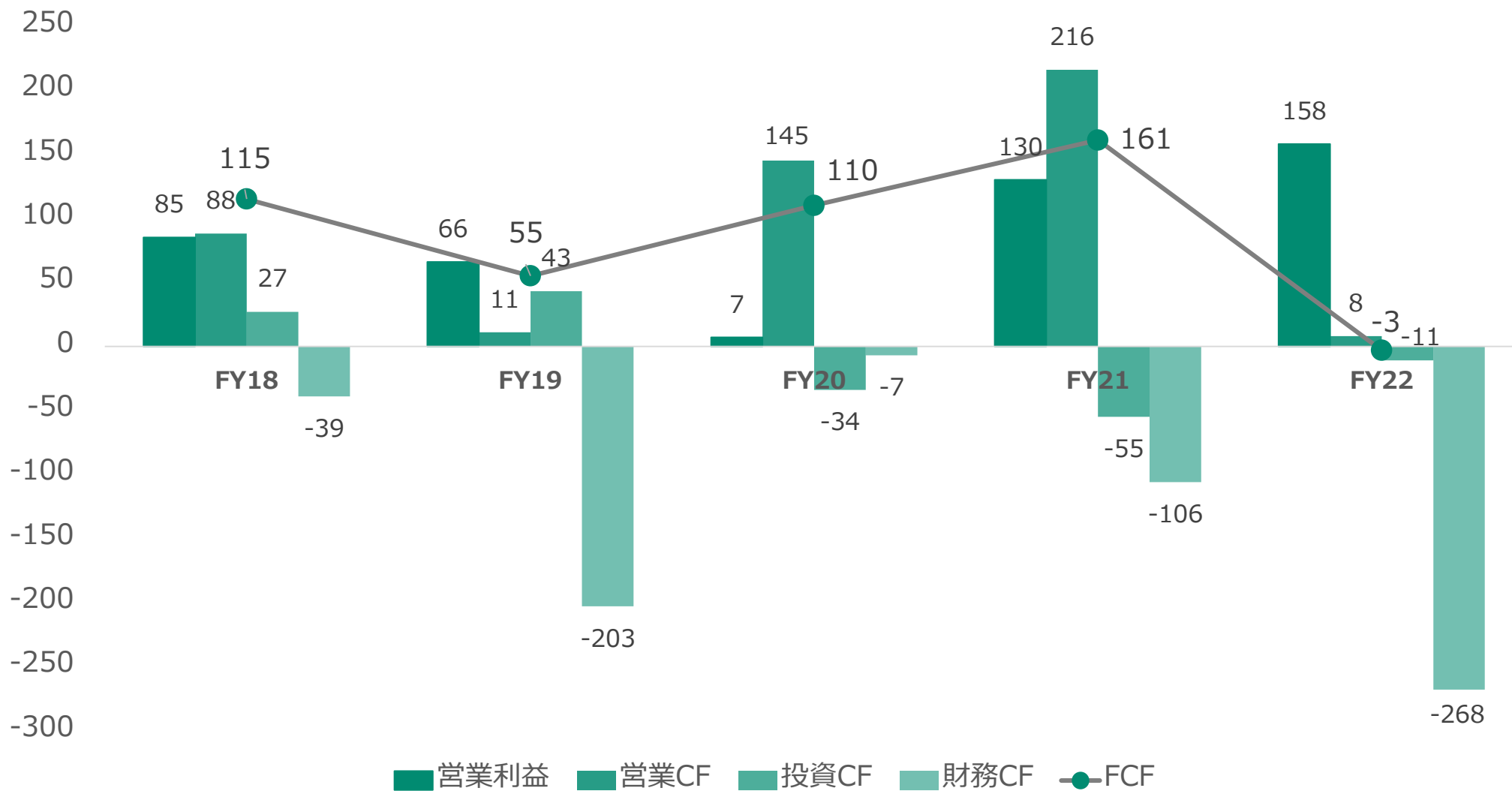


回転月数 (ヶ月)	2022/3	2023/3
売上債権	2.8	2.5
たな卸資産	5.0	5.1

自己資本比率 (%)	2022/3	2023/3
	73.2	75.4

キャッシュフロー推移

単位：億円



- 当社オフィシャルWebサイト「投資家情報」をリニューアルしました。よりアクセスしやすく、ウシオの現在～未来を知っていただけるような構成に整理しました。
- 法定開示や適時開示、その他IR情報等、ウシオのIRニュースを開示後適時にメールでお届けできるように**IRメール配信サービス**を導入しました。IRサイトからご登録いただきますようお願いいたします。

Renewal Point

01

個人投資家の皆さま向けコーナーを新設

シンプルでわかりやすさを意識した構成にすることで、利便性の向上を図りました。



Renewal Point

02

コンテンツの新設

当社のビジネスをより身近に感じていただけるコンテンツを拡充しました。



Renewal Point

03

IRメール配信登録機能を追加

個人投資家の皆さまにもIRニュースをいち早くお知らせできるよう機能を追加しました。



IRメール配信登録はこちらから



AI	Artificial Intelligence	人工知能
APMI	Actinic Patterned Mask Defect Inspection	EUV光を使ったマスク欠陥検査装置
BGA	Ball Grid Array	半田ボールを格子状に並べた電極形状をもったパッケージ基板
CoO	Cost of Ownership	導入コストやメンテナンスコストなどを含めた、使用者（オーナー）が負担するコスト
CPU	Central Processing Unit	中央演算処理装置
DCP	Digital Cinema Projector	デジタル・シネマ・プロジェクター
DI	Direct Imaging	マスクを使わず、直接描画する露光方式
EUV	Extreme Ultraviolet Radiation	極端紫外放射（極紫外放射）
FPD	Flat Panel Display	フラット・パネル・ディスプレイ
GPU	Graphic Processing Unit	画像を表示するために必要な計算を行う半導体装置
IoT	Internet of Things	モノがインターネット経由で通信すること
OA	Office Automation	オフィス内の事務作業の自動化や効率化を図ること
TNO	The Netherlands Organization of Applied Scientific Research	オランダ応用科学研究機構
UV	Ultraviolet	紫外線
5G	5 th Generation	第5世代移動通信システム

(旧) 事業セグメントと主な製品

事業セグメント	主要事業・製品	製品例
光源事業	放電ランプ ハロゲンランプ 固体光源	 UVランプ  シネマ用ランプ  データプロジェクター用ランプ  OA用ランプ  固体光源 (LD/LED)  Care222 [®] 関連製品
光学装置事業	投影露光装置 ダイレクトイメージング露光装置 EUVマスク検査用EUV光源 保守サービス	 投影露光装置  ダイレクトイメージング露光装置  EUVマスク検査用EUV光源 <small>(提供：TNO)</small>  光配向装置  液晶貼り合わせ用紫外線照射装置
映像装置事業	デジタルシネマプロジェクター 一般映像用プロジェクター ディスプレイ 保守サービス	 デジタルシネマプロジェクター  一般映像用プロジェクター  ディスプレイLEDウォール  映像周辺機器

(新) 事業セグメントと主な製品

事業セグメント	主要事業・製品	製品例					
Industrial Process	<p>光源： UVランプ、OA用ランプ、光学機器用ランプ他</p> <p>装置： UV装置、キュア装置、EUVマスク検査用光源、保守メンテナンスサービス他</p>	 UVランプ	 OA用ランプ	 投影露光装置	 ダイレクト イメージング露光装置	 (提供：TNO) EUVマスク検査用 EUV光源	
Visual Imaging	<p>光源： シネマ用ランプ、データプロジェクター用ランプ他</p> <p>装置： デジタルシネマプロジェクター、一般映像向けプロジェクター、映像関連機器、保守メンテナンスサービス他</p>	 シネマ用 ランプ	 データ プロジェクター用 ランプ	 デジタルシネマ プロジェクター	 一般映像用 プロジェクター	 ディスプレイ LEDウォール	 映像周辺機器
Life Science	<p>光源：「Care222[®]」搭載製品他</p> <p>装置：紫外線治療機器他</p>	 抗ウイルス・除菌技術 「Care222 [®] 」搭載製品	 紫外線治療器 「セラビームシリーズ」	 紫外線治療器 「セラビームシリーズ」			
Photonics Solution	<p>光源：固体光源</p>	 固体光源 (LD/LED)	 レーザーモジュール				

<本資料に関するお問い合わせ先>
ウシオ電機(株)
コーポレートコミュニケーション部 IR課
(03) 5657-1007
ir@ushio.co.jp
<http://www.ushio.co.jp/jp/>